

# 養蜂をめぐる情勢

○ 蜜蜂の飼育動向	・ ・ ・ ・ ・	1
○ 蜂蜜の需給	・ ・ ・ ・ ・	2
○ 蜂蜜の流通	・ ・ ・ ・ ・	3
○ 蜂蜜の種類等	・ ・ ・ ・ ・	4
○ 蜜蜂製品の生産額等	・ ・ ・ ・ ・	5
○ 転飼について	・ ・ ・ ・ ・	6
○ 蜜蜂の転飼状況	・ ・ ・ ・ ・	7
○ 施設園芸等における花粉交配用蜜蜂の利用状況	・ ・	8
○ (参考)養蜂振興法の一部改正について	・ ・ ・ ・ ・	9

平成26年9月

農林水産省生産局畜産部

# 蜜蜂の飼育動向

- 蜜蜂の飼育戸数及び蜂群数は平成22年以降増加で推移。(平成25年以降、届出義務を趣味養蜂にも拡大。)

- 平成26年の蜜蜂の飼育戸数は9,306戸、蜂群数(※)は209.6千群。  
(※ 蜂群数は1月1日時点の調査で、夏期には増殖等で2倍以上になる。)

- 蜜源植物の植栽面積は減少傾向で推移。平成25年は148千ヘクタール。

## 蜜蜂飼育戸数、蜂群数の推移

(単位:戸、千群、群/戸、%) ※

区分	S60年	H2年	H7年	H12年	H17年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
飼育戸数	9,499	8,281	7,235	5,342	4,790	5,353	5,790	5,934	8,312	9,306
蜂群数	285	253	214	184	178	175	184	184	204	210
平均蜂群数	30.0	30.6	29.6	34.5	34.4	32.8	31.9	31.1	24.5	22.5

資料:畜産振興課

各年とも1月1日現在

※ H25年以降は改正後の養蜂振興法に基づく届出数。

## 蜜蜂飼育戸数等の上位10県(H26年)

(単位:戸、千群、%)

区分	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
飼育戸数	長野	静岡	神奈川	和歌山	愛媛	岐阜	愛知	福島	岡山	鹿児島
戸	685	497	386	379	378	360	344	341	308	306
%	7.4	5.3	4.1	4.1	4.1	3.9	3.7	3.7	3.3	3.3
蜂群数	長野	和歌山	熊本	鹿児島	沖縄	福岡	福島	北海道	岐阜	埼玉
千群	12.4	11.4	10.6	10.3	9.9	8.8	8.3	7.3	7.1	6.7
%	5.9	5.4	5.0	4.9	4.7	4.2	4.0	3.5	3.4	3.2

資料:畜産振興課調べ

平成26年1月1日現在の調査

## 蜜源植物の植栽面積の推移

(単位:千ヘクタール、%)

区分	S60年	H2年	H7年	H12年	H17年	H22年	H23年	H24年	H25年
みかん	143.7	100.4	87.6	78.4	62.1	52.8	52.4	51.3	43.8
れんげ	21.9	18.1	15.7	25.6	15.1	13.5	11.9	12.8	10.8
アカシア	7.6	9.1	8.5	10.3	8.0	7.1	9.3	8.6	7.5
りんご	45.2	46.3	35.5	34.6	29.6	6.3	23.8	23.4	22.1
その他	152.3	129.4	117.9	101.6	75.4	58.8	65.5	64.9	63.7
合計	370.7	303.3	265.2	250.5	190.3	138.4	162.9	160.9	148.0
(対前年比)	97.0	90.3	95.0	102.7	103.3	87.1	117.7	98.8	91.9

資料:畜産振興課調べ

各年とも1月から12月に蜜源として利用した植栽面積

注:表中の数値は、各都道府県で把握しているものを集計。

なお、一部県の調査中止や調査再開もあり、数字の連続性はない。

# 蜂蜜の需給

- 蜂蜜の生産量は、蜜源植物の減少やアルファルファタコゾウムシによる食害等により減少傾向で推移してきたが、近年は横ばい。
- 輸入量は、平成2年頃の蜂蜜入り飲料需要により急激に増加したものの、その後は減少傾向で推移し、近年大幅な増減は見られない。  
 なお、輸入相手国としては、中国が30,006トンで全輸入量の約77%。
- この結果、平成25年の国内消費量は41,664トン（対前年比105.3%）、自給率は6.8%。

## 蜂蜜の生産量、輸入量及び消費量の推移

(単位:トン、%)

区分	S60年	H2年	H7年	H12年	H17年	H22年	H23年	H24年	H25年
生産量	7,225	4,854	3,362	3,024	2,892	2,639	2,684	2,778	2,841
輸入量	28,047	69,435	39,200	40,077	43,162	39,950	40,584	36,823	39,030
うち中国	18,143	59,651	35,138	36,754	39,023	32,386	31,520	28,763	30,006
%	64.7	85.9	89.6	91.7	90.4	81.1	77.7	78.1	76.9
輸出量	-	13	77	10	135	33	215	18	38
消費量	35,272	74,276	42,485	43,091	45,919	42,556	43,053	39,583	41,664
自給率	20.5	6.5	7.9	7.0	6.3	6.2	6.2	7.0	6.8

資料:貿易統計(輸入量、輸出量)、畜産振興課調べ

## 蜂蜜生産量の上位10県(平成25年)

(単位:トン、%)

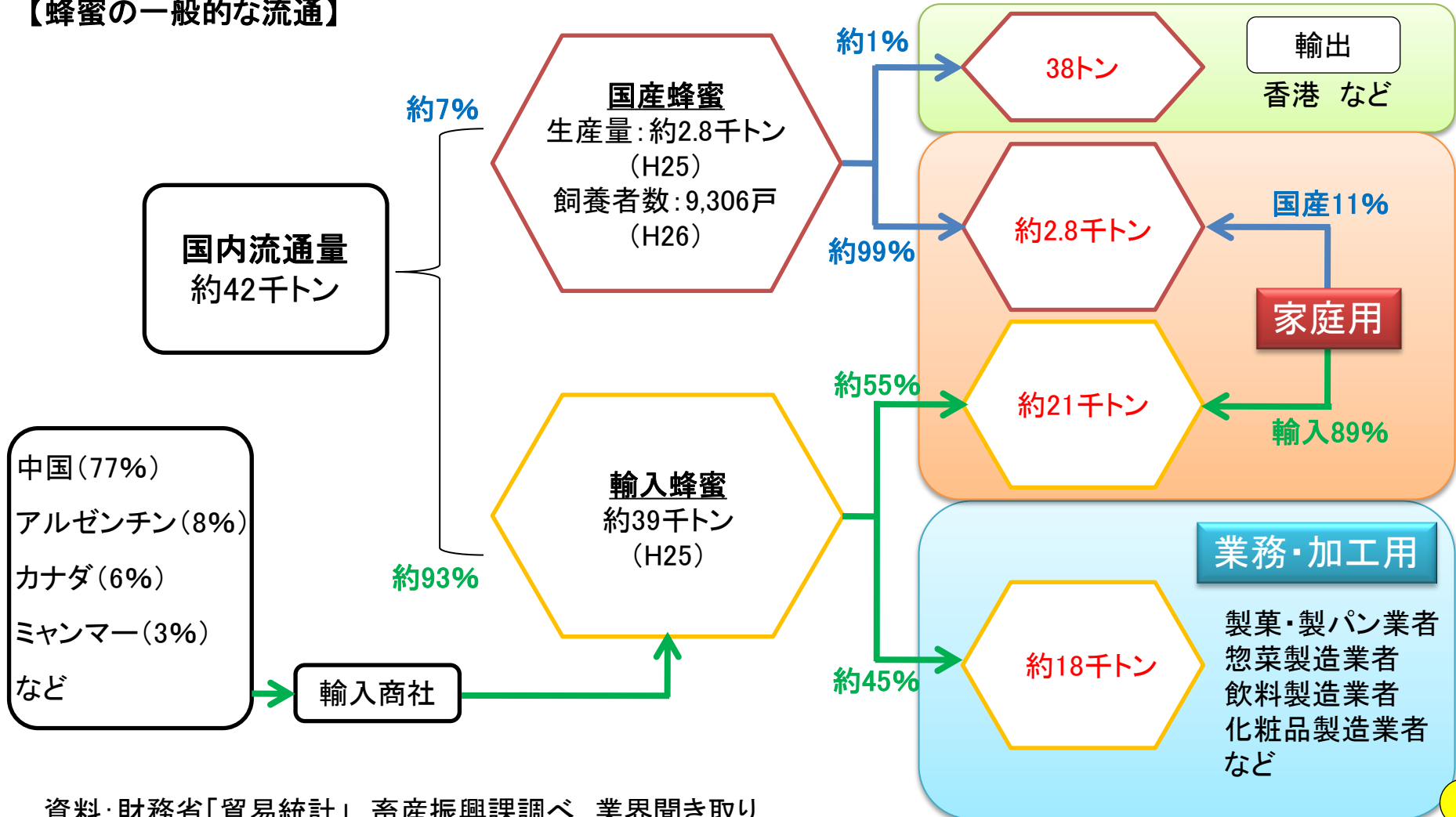
区分	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
	北海道	秋田	熊本	長野	青森	岐阜	和歌山	愛知	静岡	鹿児島
生産量	394.4	215.8	191.8	179.6	176.9	144.8	133.4	130.1	121.0	86.2
%	13.9	7.6	6.8	6.3	6.2	5.1	4.7	4.6	4.3	3.0

資料:畜産振興課調べ

# 蜂蜜の流通

- 蜂蜜の国内流通量は、約42千トンで、うち国産が約2.8千トン、輸入が約39千トン。輸入はちみつの77%は中国産。
- 国産蜂蜜のほぼ全てが家庭用仕向け。輸入蜂蜜は約55%が家庭用、約45%が業務・加工用仕向け(製菓・製パン、化粧品等)。

## 【蜂蜜の一般的な流通】



# 蜂蜜の種類、色、価格

- 蜂蜜の種類は、蜜源の花により分類され、アカシアの花の蜜からはアカシア蜜、レンゲの花の蜜からはレンゲ蜜が取れる。
- 蜂蜜の色は、蜜源の花の種類によって淡黄色から黒褐色まで様々。
- 価格については、国産、輸入では生産コストの違いにより、中国、東南アジア産蜂蜜と国産には相当程度の価格差が存在。

## 種類・色

いろいろなはちみつがあります



ソバ      百花      トチ      レンゲ      アカシア

トチの花



レンゲの花



アカシアの花



## 価格

### ・国産蜂蜜卸売価格

1,000円/kg~2,300円/kg

※一般社団法人日本養蜂協会聞き取り

### ・外国産蜂蜜価格

平成25年	数量(t)	価額(千円)	CIF価格 (円/kg)	課税後 (円/kg)
合計	39,030	11,340,810	291	365
中華人民共和国	30,006	6,624,022	221	277
アルゼンチン	3,044	1,100,127	361	454
カナダ	2,407	1,188,984	494	620
ミャンマー	1,177	210,403	179	224
ハンガリー	740	507,798	686	861
ニュージーランド	522	947,769	1,816	2,279

出典：財務省「貿易統計」 ※天然蜂蜜の関税率は25.5%

# 蜜蜂製品の生産量・生産額

- 蜜ろうの生産量は、減少傾向で推移してきたが、近年は横ばい。

蜜ろうは、蜜蜂の巣を構成する蠟で、働き蜂の腹部にある蠟線から分泌される。ろうそく、ワックス、化粧品、クレヨン等の原料として使用される。

- ローヤルゼリーの生産量は、減少傾向で推移してきたが、近年は横ばい。

ローヤルゼリーは、女王蜂や女王蜂となる幼虫のエサとして働き蜂が分泌する。健康食品として利用される。

- 蜂蜜及び蜜蜂製品の生産額は、推定84億円。

## 蜂蜜以外の生産物の生産量の推移

(単位:kg)

	S60年	H2年	H7年	H12年	H17年	H22年	H23年	H24年	H25年
蜜ろう	159,081	85,278	67,990	48,527	37,563	31,578	30,909	25,897	32,432
ローヤルゼリー	12,473	8,356	6,094	4,035	3,916	3,103	3,380	3,878	3,669

資料: 畜産振興課調べ

## 蜂蜜・蜜蜂製品の生産額(平成25年)

種類	生産量	単価	生産額
蜂蜜	2,841トン	2,000円/kg	5,682百万円
ローヤルゼリー	4トン	150,000円/kg	600百万円
蜜ろう	32トン	1,000円/kg	32百万円
花粉交配用蜜蜂 *	116千群	18,000円/群	2,088百万円
合計			8,402百万円

資料: 畜産振興課調べ、単価は一般社団法人日本養蜂協会から聞き取り

\*花粉交配用蜜蜂の単価は、いちごの花粉交配用(3~4枚の巣板を1群として使用)を参考とした。

注: 表中の数値は、各都道府県で把握しているものを集計。

# 転飼について

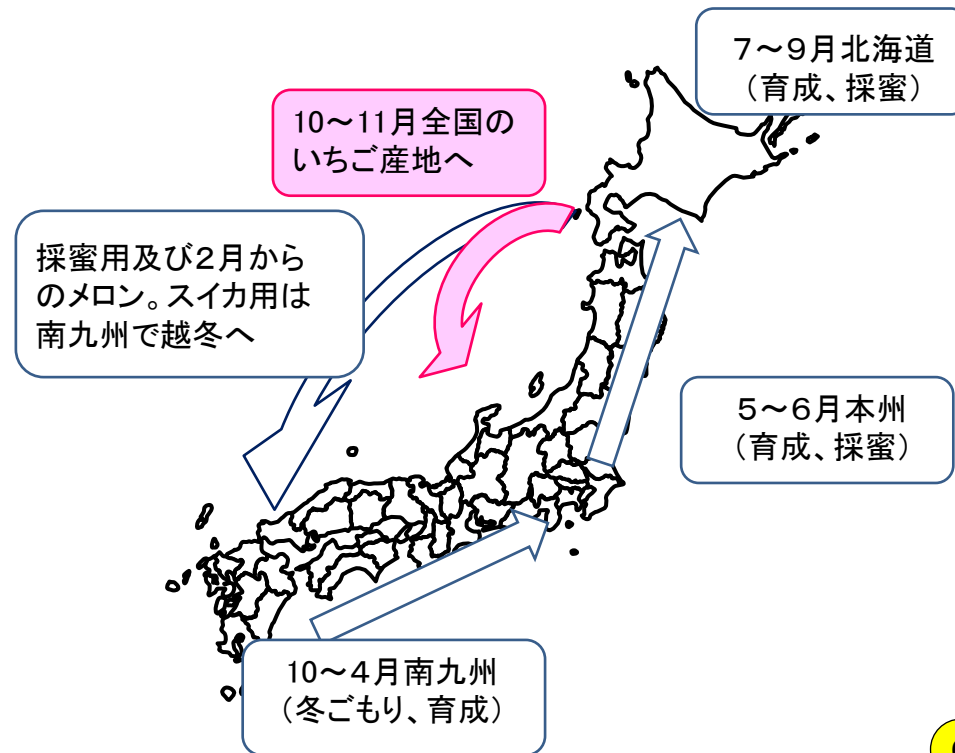
- 転飼とは、レンゲ・アカシア等蜜源植物の開花期にあわせ、蜜蜂を移動させて飼育し、採蜜を行う養蜂を言う。各都道府県では、蜜源の利用に関して養蜂業者間で混乱を招かぬよう、あらかじめ場所や期間等を申請させ、調整を実施している。

## 県外からの転飼

- ・ 県境をまたぐ移動の場合、「養蜂振興法」第4条に基づき、事前に移動先の都道府県知事の許可を得なければならない。
- ・ 許可の申請は、基本的に移動する2ヶ月前までに、
  - ①住所及び氏名
  - ②蜂群数
  - ③転飼しようとする場所及び期間等を記載した申請書を移動先の都道府県知事に提出する。

## 県内における転飼

- ・ 都道府県内における転飼は、都道府県が条例や指導基準等により調整するものである。



# 蜜蜂の転飼状況

- 蜜蜂の転飼は、蜂群の減少等に伴い減少傾向で推移。平成23年以降はやや増加。
- 平成25年は、県外からの転飼申請2,385件、146,777群に対して、許可は2,384件、146,756群。県内における転飼の申請3,648件、124,080群に対して、許可は3,642件、123,970群。

## 蜜蜂の転飼状況

区分	県外からの転飼				県内における転飼			
	申請		許可		申請		許可	
	件数	群数	件数	群数	件数	群数	件数	群数
S60年	4,270	215,188	4,261	214,768	6,351	183,799	6,330	182,889
H2年	3,880	193,606	3,876	193,396	6,273	193,621	6,262	193,530
H7年	3,277	166,744	3,274	166,526	5,986	187,365	5,960	187,276
H12年	2,867	144,925	2,865	144,885	5,318	157,731	5,303	157,285
H17年	2,610	128,817	2,608	128,712	5,065	149,042	5,057	148,819
H22年	2,429	123,818	2,427	123,559	3,488	109,317	3,462	107,855
H23年	2,637	134,321	2,635	134,233	3,793	125,424	3,790	125,295
H24年	2,690	139,777	2,688	139,677	4,138	131,542	4,120	130,058
H25年	2,385	146,777	2,384	146,756	3,648	124,080	3,642	123,970

資料：畜産振興課調べ

注1：県外からの転飼とは、「養蜂振興法」第4条第1項に規定された転飼

注2：県内における転飼とは、各都道府県内における転飼



# 施設園芸等における花粉交配用蜜蜂の利用状況

- 施設園芸や果樹等の農家において花粉交配用として蜜蜂を利用。
- 平成21年に問題となった花粉交配用蜜蜂不足は、
  - ①前年(平成20年)夏に、天候不順、ダニ等の被害により、働き蜂の増殖が不十分であったこと
  - ②前々年(平成19年)から、女王蜂の主要供給国である豪州からの輸入が見合わされていたこと(※)
 が主な要因。

※豪州の一部の州で蜜蜂の病気届出制度が変更され、同国から蜜蜂を輸出する時に病気がないことを保証するための方法などに関する日本と豪州の間の取り決めの内容が見直されるまで、豪州政府が自主的に女王蜂の輸出を見合わせていたもの。

- これを受け、平成21年に、蜜蜂安定供給確保のため、各都道府県と協力しつつ、園芸農家と養蜂家の間の需給調整システムを立ち上げ、不足県があった場合、供給可能県の情報を提供し、需給調整を図っており、平成22年以降、花粉交配用蜜蜂の不足問題は起こっていない。

## 花粉交配における蜜蜂の利用状況の推移

(単位:戸、群)

区分	H21年		H22年		H23年		H24年		H25年	
	農家数	群数	農家数	群数	農家数	群数	農家数	群数	農家数	群数
施設園芸	23,167	108,928	26,032	110,747	23,889	99,179	23,348	100,263	15,581	80,710
(うち、いちご)	(14,582)	(70,034)	(14,472)	(67,677)	(13,132)	(61,295)	(12,394)	(62,417)	(10,728)	(49,579)
施設園芸外										
果樹類	17,622	24,350	12,287	22,806	23,794	26,936	23,924	25,510	25,725	26,830
野菜	2,370	11,735	3,343	12,493	1,818	4,731	2,537	5,786	1,568	8,197
合計	43,159	145,013	41,662	146,046	49,501	130,846	49,809	131,559	42,874	115,737

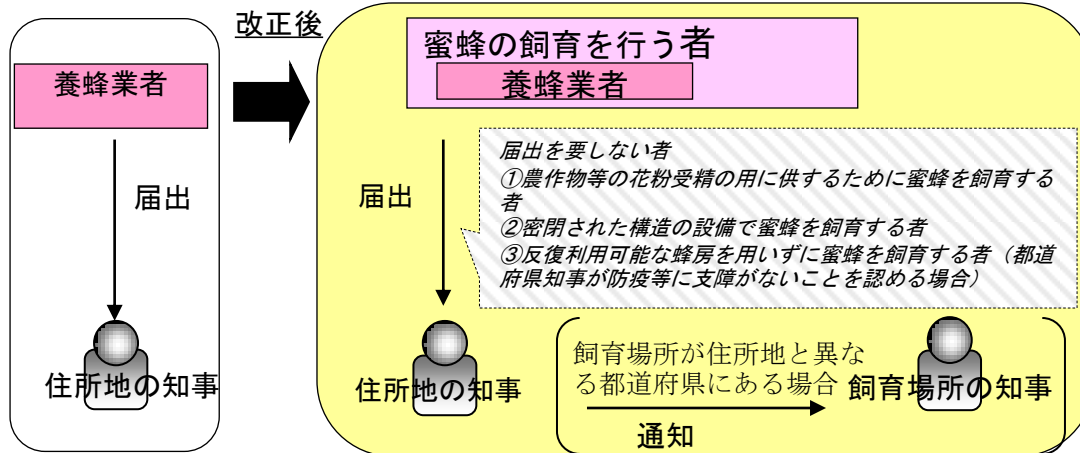
資料: 畜産振興課調べ

注: 表中の数値は、各都道府県で把握しているものを集計。

# (参考) 養蜂振興法の一部改正について

- 趣味養蜂の増加や蜜源の減少により、蜂場をめぐるトラブルが増加する等の問題を踏まえ、平成24年6月に議員立法により養蜂振興法を改正。
- 法改正では、養蜂の届出義務を趣味養蜂にも拡大。蜜蜂の適正管理のため、都道府県による蜜蜂の管理に関する指針の策定・指導、国等による蜜源植物の保護・増殖のための施策の実施等を追加。

## < 1. 養蜂の届出義務の見直し >



## < 2. 蜜蜂の適正な管理 >

- ・ 蜜蜂の飼育を行う者は、衛生的な飼養管理を行う
- ・ 都道府県は、蜜蜂の適切な管理が確保されるよう、蜜蜂の管理に関する指針の策定及び周知

施行期日:平成25年1月1日

## 主な改正点

## < 3. 蜜源植物の保護及び増殖 >

国及び地方公共団体は、蜜源植物の保護及び増殖に関し必要な施策を講ずる

## < 4. 蜂群配置の適正等を図るための都道府県の措置 >

都道府県は、蜂群配置の適正及び防疫の迅速かつ的確な実施を図るため、蜜蜂の飼育の状況及び蜜源の状態の把握、蜂群配置に係る調整、転飼の管理その他の必要な措置を講ずる

## < 5. その他 >

- ・ 養蜂業者に対する報告徴収及び立入検査
- ・ 罰金及び過料の引上げ 等